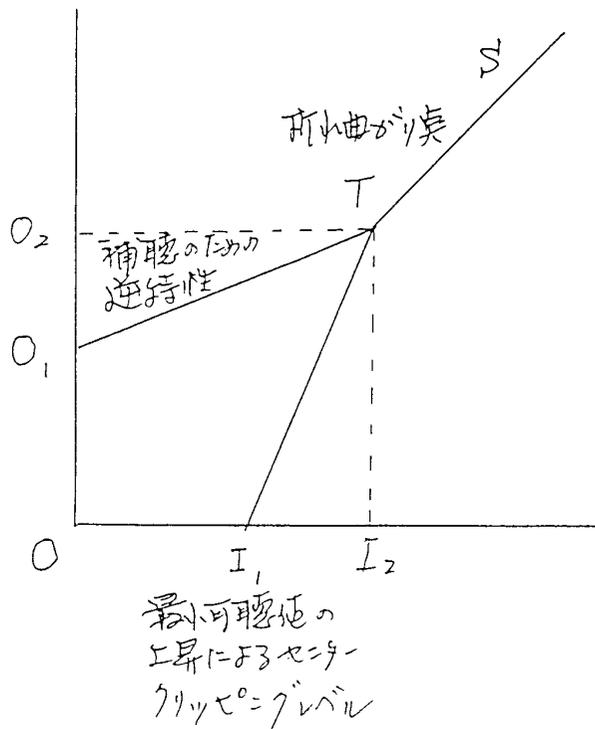
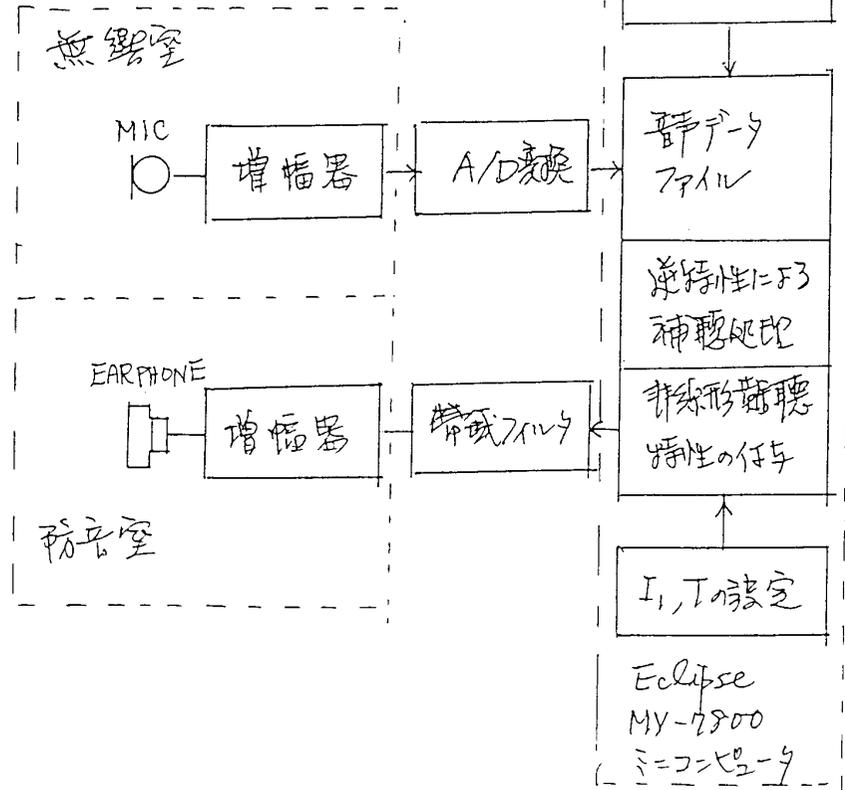


研究題名	デジタル処理による聴覚障害者のための補助システムの研究	報告書作成者	齋藤 收三
研究従事者	畑 澁一博, 坂本 真一		
研究目的	聴覚障害者の多様な疾患形態に適応できる性能をもつデジタル処理形補聴器の開発を目標として、感音性難聴者にはしばしば見られるリクルートメント特性の補聴技術に関する研究をおこなう。		
研究内容	感音性難聴者に見られるリクルートメント特性(非線形難聴特性)を、最小可聴値の上昇によるセタクリックレベル T_1 と、線形聴覚特性が復元する折れ曲がり点 T_2 で表わすこととし、(説明図参照)この非線形難聴特性をコンピュータシミュレーションにより実現して、健聴者による受聴実験を行った。また非線形難聴特性と白雑音による音声のマスクング妨害が、音声知覚の観点から等価な効果をもつことを実験時に確かめた。これらの解析的研究に基づき、難聴者個人ごとの非線形難聴特性を推定する簡易な測定法を開発し、この特性の逆特性を音声に前処理として加えることにより、聴覚障害者の音声知覚能力を改善できることを障害者による実験により確認した。		

感音性難聴者の非線形難聴特性



実験装置の構成



(注： フローチャート図，ブロック図，構成図，写真，データ表，グラフ等 研究内容の補足説明に御使用下さい)